

抄 録

ヒラメの食物利用と栄養状態の季節・場所間変異

富山 毅*・栗田 豊**

Seasonal and Spatial Variations in Prey Utilization and Condition of
a Piscivorous Flatfish *Paralichthys olivaceus*

Takeshi TOMIYAMA* and Yutaka KURITA**

Aquatic Biology 11 (3), 279–288 (2011)

2001～2007年に常磐海域で採集した全長20～92cmのヒラメ5,129尾について、食性と肥満度を調査した。胃に内容物がみられた1,668個体において、主な食物は魚類であり重量で92%を占めた。そのうち54%はカタクチイワシであり、次いでイカナゴが22%と多かった。カタクチイワシは、常磐海域から消失する3～4月を除いて周年捕食されていた。3～4月にはヒラメは北緯37°20'以北ではイカナゴを主に摂食していたが、以南ではイカナゴが分布しないことを反映して、ヒラメの胃内からイカナゴは出現せず、その他の食物もほとんどみられなかった。3～4月におけるヒラメの肥満度と肝臓重量指数は北部において高く、食物条件が捕食者の栄養状態に影響することが示唆された。

*現所属 広島大学生物生産学部

**東北区水産研究所